

2018.10. 2 <計1枚>

京都教育記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

生活を支える木材、そのルーツを知ろう
立命館小学校児童が 600 年の伝統を持つ北山丸太で製造体験

立命館小学校 3 年生の児童は、600 年の歴史を持つ北山丸太の製造を体験することで、京都の伝統工芸の歴史と奥深さを学びます。

北山杉から作られる北山丸太は、室町時代から製造されており、その木質は緻密で細かく光沢を放つほどなめらかな木肌を持つ木材です。かの千利休の「茶の湯文化」に影響を受けた茶室をはじめ、数奇屋や桂離宮、修学院離宮、島原角屋の建築にも使用されたといわれています。600 年の歴史の重みを感じさせる京都の伝統工芸品であり、「京都府伝統工芸品」(京都府)や「京都市伝統産業品」(京都市)の指定も受けています。

今回、3 年生の児童は、枝を切り落とす「枝打ち」の見学と木肌を磨く「丸太磨き」を体験します。本校の教育の柱の1つである「豊かな感性を育てるために本物の芸術に触れさせたい」という想いと、地元・京都への関心を持って欲しいとの考えから、10 年前より京都北山丸太生産協同組合様と連携し、実施しています。

この授業を通して、児童が京都の伝統工芸・歴史について理解を深めるとともに、身の回りにある木材の魅力を肌で感じながら、京都の伝統を守る人々に対する感謝の意を育みます。

※昨年度の様子・・・本校ホームページのラーニングトピックスをご覧ください。

http://www.ritsumeai.ac.jp/primary/learning/detail/?post_id=3909



記

日時：2018年10月5日(金) 9:25~11:00

場所：京都北山丸太生産協同組合(京都府京都市北区中川川登 74)

内容：丸太職人による製造工程の説明、「枝打ち」見学、「丸太磨き」体験、温度計作り

対象児童：本校第3学年児童 122名

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

※ご取材いただける場合は前日までにご連絡をお願いします

立命館小学校事務室 担当:安平

TEL. 075-496-7777 <http://www.ritsumeai.ac.jp/primary/>

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティ

Beyond Borders